201306

アートフロアLIP3　オリジナル 施工説明書

3mm

必ずお読みください

NANKAI 南海プライウッド株式会社
本社　〒760-0067　香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-363	FAX(087)825-3659

ホームページ　http://www.nankaiplywood.co.jp/

施工される方へ

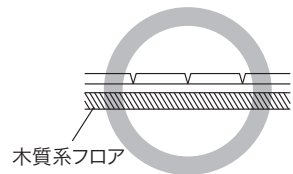
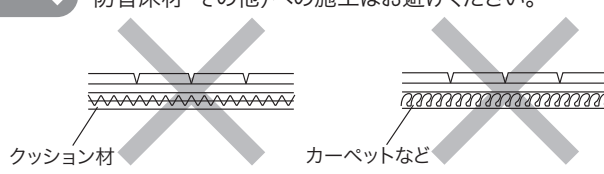
施工前に製品を よくお確かめください。

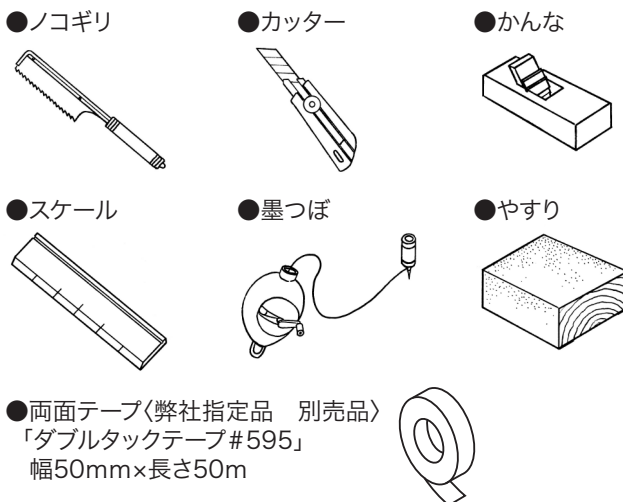
品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業までですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修は致しかねますので必ず施工前にご確認お願いします。

ご注意　ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工を行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

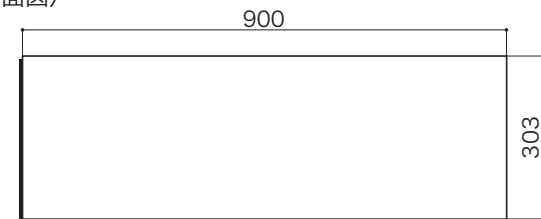
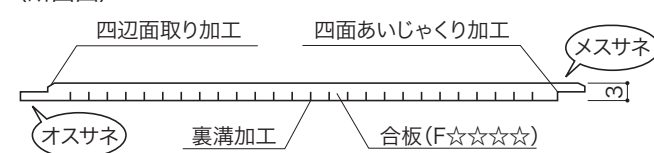
施工前の注意

●本製品はリフォーム用に開発された製品です。下地をよくお確かめのうえ、ご使用ください。

施工可能な下地
木質系フロア・合板・Pタイル

施工不可能な下地
クッション性のある下地（カーペット・畳・クッションフロア・防音床材・その他）への施工はお避けください。

●本製品は木製ですので、微少ではありますが湿度など、環境の変化による伸び縮みがあります。そのことを考慮して施工を行なってください。
●必ず弊社指定の両面テープ「ダブルタックテープ＃595」をご使用ください。指定以外のものを使用しますと、踏み鳴りやはがれの原因となります。
●本製品は上履き用として設計しておりますので、土足でのご使用はお避けください。
●本製品は下地の影響によりフロア表面の美観を損なう場合がありますので、下地のゴミなどは完全に取り除き、不陸の調整を入念に行なってください。
●フロアをカッターなどで切断する場合、あやまって手を切るなどの傷害を負うおそれがあります。カッターなどの加工工具を使用の際は、充分に注意して作業を行なってください。

［施工に必要な材料］

●ノコギリ
●カッター
●かんな
●スケール
●墨つぼ
●やすり
●両面テープ〈弊社指定品　別売品〉
「ダブルタックテープ＃595」
幅50mm×長さ50m
部屋の大きさ	4.5畳	6畳	8畳
必要本数	2本（60m）	2本（75m）	3本（100m）

［製品の形状・梱包内容］

〈梱包内容〉
●フロア（3×303×900mm）12枚/梱
●施工説明書
●取扱説明書

〈平面図〉
〈断面図〉
施工手順

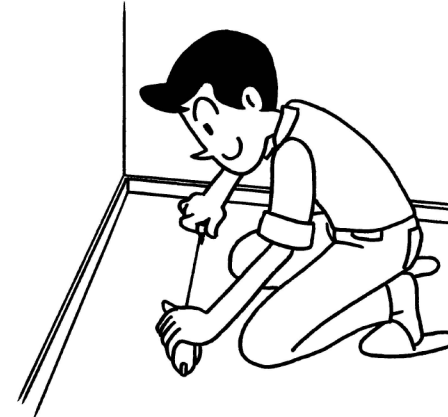
1 下地の調整・掃除

1. 下地となる部分は、完全にゴミ・ホコリなどを取り除いてください。接着不良や意匠くずれの原因となります。
2. 段差は0.5mm以下にしてください。0.5mm以上ある場合には、やすりなどで調節してください。

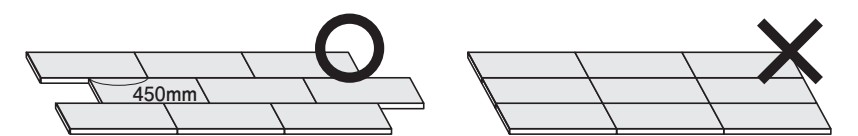
やすりなどで高い方を削り段差をなくします。

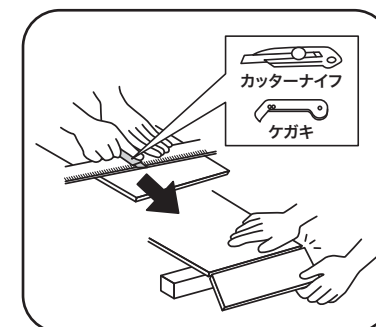
3. 下地にきしみ・たわみ・床鳴りなどが発生している場合は、あらかじめ補修してください。
4. 下地の不陸（表面の凸凹）は必ず1mあたり3mm以下にしてください。
5. 下地となる既存の床に油性ワックスを使用している場合は、市販のワックス除去剤でワックスを除去してください。
6. 下地材に濡れや湿りがある場合はしっかり乾燥させてください。

下地の清掃・補修は確実に行なってください。両面テープが接着不良を起こし、フロアのはがれ・床鳴りの原因になります。

2 墨出し・割り付け

1. 部屋の大きさに応じてフロアの貼り方を考えます。
2. 墨出し（フロア施工位置決め）を行ない、基準線を引いてください。

壁際にはフロアの伸びによる突き上げや浮きを防止するため、壁とフロアとのすき間を2〜3mm設けるようにしてください。
下地の継ぎ目上にフロアの継ぎ目が重ならないように割り付けてください。継ぎ目が重なると段差や目すきの原因となります。

3. フロアの貼り方は1列目と2列目を450mmずらして貼ってください。

3 フロアの加工

墨出し・割り付けの際、壁際部にあたる箇所や、貼り始め・貼り終わりの箇所についてはフロアをカットします。

※フロアはノコギリの他、カッターなどでも加工できます。

ご注意
フロアをカッターなどで切断する際、あやまって手を切るなどの傷害を負うおそれがあります。充分ご注意ください。

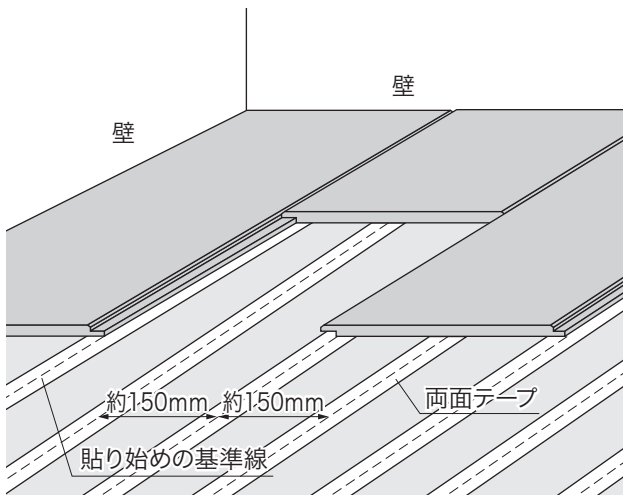
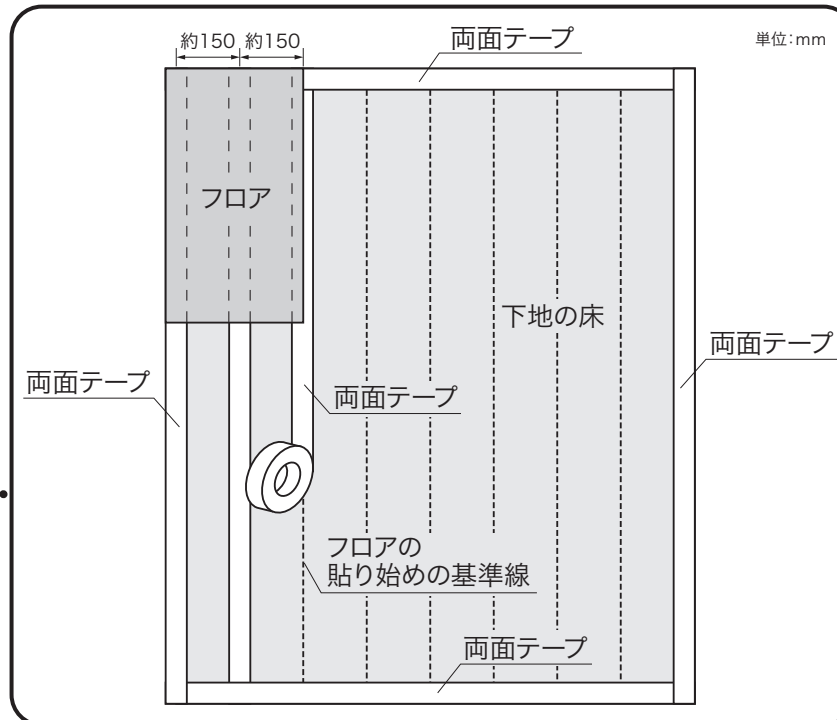
4 仮並べ

1. 3 でカットしたフロアを部屋全体に仮並べし、不具合がないかを調べます。
2. 不具合がなければ、もう一度、ゴミやのこクズなどを完全に取り除きます。

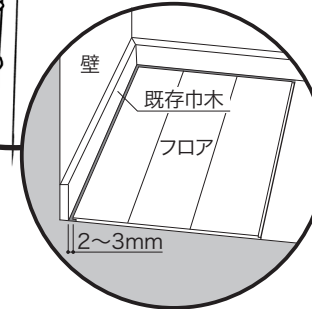
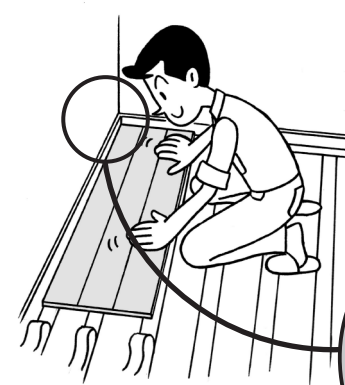
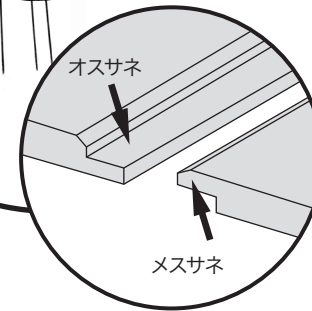
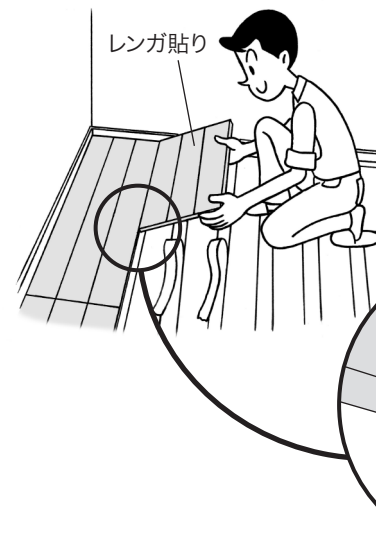
ご注意 ゴミは完全に取り除いてください。
接着不良や意匠くずれの原因となります。

5 下地への両面テープ貼り付け

1. 部屋周辺の四辺とフロアの900mm（長い方向）に沿って両面テープを貼ります。（下図参照）

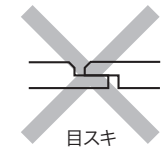
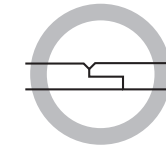
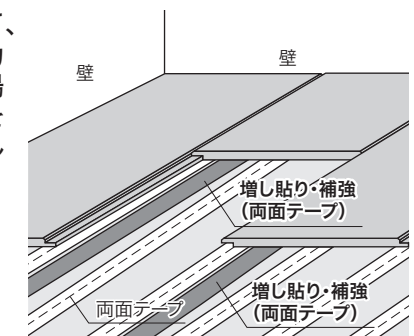
壁
壁
約150mm 約150mm
両面テープ
貼り始めの基準線

2. 両面テープは150mmピッチでフロア中央とサネ部分にくるように貼ります。（左図参照）
3. 両面テープ同士が重ならないように貼ってください。段差の原因となります。

ご注意
- ●フロアを押さえ込んだ後はずらせなくなりますのでご注意ください。
- ●テープの密着を良くするため、15度以上の床温（下地の床）でご使用ください。低温の場合、暖房器具などで加温してください。低温のまま施工した場合、両面テープの接着力不足から浮き・はがれの原因となります。浮き・はがれが生じた場合、床を再度圧着しても接着しない場合があります。

6 フロアの貼り付け

1. 両面テープの離型紙をフロアを貼る部分のみはがしながら、オスサネを手前に向けて、部屋の右上隅から貼り始めます。
2. フロアをよく押さえて両面テープにしっかり密着させてください。特にサネ部分は充分に押さえてください。
3. 2枚目以降も同様の作業を繰り返し行なってください。

ご注意
- ●フロアを貼り付ける際は、フロアをしっかりと押さえて充分圧着してください。圧着が弱いと接着不良を起こし、浮き・はがれの原因となります。
- ●両面テープの離型紙はフロアを貼る部分のみ剥がしてください。ゴミなどが両面テープに付くと、接着不良・段差の原因となります。
- ●サネの突き付け部は、目すきや突き上げのないように確実に施工してください。また、無理に押し込んだりせず、軽く突き合わせるようにして施工してください。無理に押し込むと、突き上げの原因となります。

目スキ

突き上げ

- ●メスサネ側について、不陸および接着力が弱いと思われる場合は、両面テープを増し貼りして補強してください。

7 部材との納まり

巾木との間に生じたすき間や掃き出し口などは、別売品の見切り材で納めることをおすすめします。

見切り材（別売品） ［断面図（単位：mm）］

見切り材A　納まり図

見切り材B2　巾木との納まり図